



鹿児島県立
鹿児島聾学校

平成27年度

進路だより

第3号

平成 28 年 3 月 10 日

発行 進路指導部

文責 内田 正博

日ごとに寒さもゆるみ春を感じる頃となりましたが、保護者の皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、「進路だより」第3号を発行します。今回は、就労支援スキルアップ事業における技能検定や講演会の様子並びに進路訪問に関する内容を中心に掲載しています。将来の進路に向けて活用いただければありがたいです。

技能検定へ挑戦!!

冬期休業中の1月7日に、鹿児島県特別支援学校技能検定が、鹿児島養護学校で開催されました。今年度から始まった事業で、資格の認定を通して、学習・勤労への意欲や自信を高めることを目的に実施され、今年度は「清掃部門」が行われました。本校からは、高等部2年生2人、1年生1人の3人が参加しました。12月から約1月間練習を重ね、大会当日は堂々と各種目に挑み、練習の成果を十分に発揮し、見事3人全員がそれぞれのコースにおける最上位の級を認定されました。終了後は、満足した自信に満ちた表情でした。来年度は、さらに上位のコースにチャレンジしたいとの決意を話してくれました。



島内さん(机上清掃)



森山さん(ダスタークロス清掃)



山田さん(水拭き清掃)



認定証をもらい記念撮影

進路講演会開催

1月29日(金)に特別支援学校就労支援スキルアップ推進事業における進路講演会が本校会議室で開催されました。株式会社デンソーで就労している卒業生の斑目さん、上司の近森さん、人事担当の佐野さんをお招きし、中学部、高等部生徒・職員及び小学部、中学部、高等部の保護者が参加しました。『働くことを考える』と題して講話していただきました。斑目さんは、聾学校時代～現在(卒業後9年)までの様子を多くの資料を基に、明るくユーモアを交え話してくれました。また、人事担当の佐野さんは、デンソーの事業内容の紹介や障害者雇用への取組、求める人材等について、丁寧に講話していただきました。質疑応答では、多くの質問が飛びだし、時間も延長する程に盛況な講演会でした。『学生と社会人の違い』、『聾学校で身に付けておくべきこと』など多くの事を学ぶ良い機会となりました。



卒業生の斑目さん



人事担当の佐野さん



積極的に質問している高等部生

- ・責任ある行動が当たり前に行えること
- ・分からない事は、理解するまで聞き直す
- ・障害者として、特別扱いはされない
- ・『Never Give Up』の精神で
- ・常に感謝の気持ちを忘れずに!

- ・自立している
 - ・時間やルールを守ることができる
 - ・自分から行動し、最後まであきらめない
- ～障害者の社員へのサポート～
- 働きやすさ(障がいに合わせた改善)
 - 成長する喜び(活躍機会の拡大)
 - 仲間とのつながり(ともに働く仲間として)

～生徒の感想～

- 「仕送りを続けていることに感動した」
- 「分かるまで徹底して質問することの大切さを学んだ」
- 「目標に向けて、どのように取り組めばいいか、改めて考える良い機会になった」
- 「健聴者とのコミュニケーションの大切さを学んだ」

進路訪問（新規進路開拓）

2月中旬に関東地区の5ヶ所（企業2，大学2，職業訓練施設1）を訪問しました。以下に主な訪問先の面談内容等をまとめて掲載します。（3ヶ所のみ）

訪問先・住所	事業（教育）内容	求人（募集）状況
株式会社スタートトゥデイ 本社：千葉県千葉市美浜区中瀬（幕張） 就業場所：習志野市	創業16年を迎えるファッション通販サイト（ZOZOTOWN, Wear）を運営している。企業理念『世界中をカッコよく、世界中に笑顔を』を掲げ、自分らしく働くことをモットーに成長を続ける企業である。聴覚障害者は、物流センター（ZOZOBASE）で、返品の確認作業が中心である。平均年齢も29歳と若く、すべて平等の方針なので働きやすい雰囲気であった。社内でのコミュニケーションは口話だけでなく手話も使っている。その他、字幕、メールなど、文字での情報保障も行なっている。	障害者雇用は高卒以上。一般は専学以上。障害者の大半が聴覚障害。ボーナスは社長から新入社員まで同額支給。求める人材は、健聴者とのコミュニケーションが積極的に行える人。自分で考えて働ける人。めげずに頑張る人。
菱信データ株式会社 東京都港区港南2-9-8 就業場所：港南センター、晴海センター、丸の内センター	三菱UFJ信託銀行の全額出資による最初の特例子会社で、現在40名の障害者が働いている。設立以来30年以上にわたり一貫して障害者雇用での社会参加を積極的に支援している。主な業務内容は、データエントリー業務（パンチ入力）を中心に信託銀行より業務委託。聴覚障害者がほとんどであり、情報保障も多くの配慮がある。顧客情報などを扱うため、機密事項が多く、ルールや規律が多い。健康保険や福利厚生は三菱UFJ信託銀行グループ会社として充実している。求める人材としては、金融機関としての規律遵守、チームワークの中で働ける協調性、マニュアル・業務指示などへの理解力と集中力 などが必要とされる。	来年度は、5名採用（都内聾学校3、北海道1、鹿児島1）、以前は都内の聾学校がほとんどであったが、最近では北海道、島根などからも採用している。5名が一人暮らしをしている。※採用は面接のみであるが、実習を行い採用を決めている。本校の卒業生（既卒）も4月から入社予定。
国立大学法人筑波技術大学 茨城県つくば市天久保1-9-1	2005年設立された聴覚及び視覚に障害を持つ人のための国内唯一の国立大学。前身は1987年に設立された3年生の短期大学である。学部としては、保健科学部（聴覚障害）と産業技術学部（聴覚障害）がある。産業技術学部には、産業情報学科と総合デザイン学科があり、情報科学分野・機械工学分野・建築工学分野に分かれている。今回は、建築工学分野が中心であった。高校生に求める学力は、主に数学や物理の学力が必要である。数学に関しては、本校高等部が履修している内容に加えて、数列や微積などの応用的な知識も必要であり、高い基礎学力が求められる。学生生活では、自己管理・自己責任が基本であり、自学の習慣の身に付いた向学心旺盛でなければ卒業は難しい。進路先は大手ゼネコンの設計部など充実している。	募集定員は全体で50人。推薦と一般が半数ずつ。一般試験と推薦試験がある。一般は、センター試験（国語、外国語）が必須。総合デザイン学科では、推薦試験において、実技試験（デッサン）が行われる。現在、本校の卒業生が産業情報学科・システム工学専攻3年生に在籍している。

今回の訪問では、これまでに卒業生が就労していない職種の企業を訪問しました。どちらの企業も障害者を積極的に雇用しており、特に聴覚障害者が多く働いていました。仕事上、最低限の支援はありますが、基本的には健常者と同様に考え、給与や福利厚生面なども変わりなく平等でした。反面、健常者と同じ仕事の量や質が求められます。また、大学においても、上記以外の大学（白梅学園大学、こども学科）も訪問しましたが、ノートテイク等の支援はありますが、授業を理解し、規定の単位修得のためには人一倍の努力が必要です。進路実現に向けては、“**基礎学力向上**”と“**常に自分で考えて行動できる力**”を身に付けることが大切であると再認識しました。

今年度から「進路だより」を発行しました。各学期に1回の発行の上、内容も足りないところも多かったと思います。来年度は発行回数を増やし、保護者の知りたい情報をより多く提供できるよう努力したいと思います。進路指導部として、聾学校の生徒ひとりひとりの進路実現に向けて指導・支援していきますので、今後とも御理解・御協力をお願いします。